

文化功労賞

文化協会清水支部

郷土研究部



有田川町文化協会清水支部郷土研究部は、1977年10月29日(昭和52年)に清水町文化協会が設立されるとともに発足し、現在も活動を続けている。

当時の清水町文化協会は、山間へき地であるが、美しい自然に恵まれ、平安の昔から真言宗のメッカである霊場高野山への街道として、また大和から高野熊野へと通じる山岳辺路の要地として文化が発展し、先祖たちが遺した貴重な文化財や伝統の民俗芸能、民話、民具など豊富に伝えられてきていることからこのふるさとの貴重な文化遺産や伝統文化を広く実生活に生かし、精神文化面の振興と新しい時代にふさわしい潤いのある生活文化を育てようとするのが趣意であり、使命であると考えて設立された。郷土研究部もその趣旨に従い、部会として発足し活動を続けている。

現在会員は20名で、毎年開催されている清水総合文化祭歴史文化展においてテーマを決め、これまで45回にわたり研究発表を行ってきている。また、年間数回の部会や研修会を開催し、会員相互の親睦と文化財の保護保存に貢献するとともに、地域文化の向上に努めている。

これらの活動は、本町文化振興に大きく寄与してきた功績は大であり、今後更なる活動を期待するところである。